

秋田県透析施設災害ネットワークシミュレーション
報告書

2025 年 10 月 1 日

秋田腎不全研究会会長
羽渕友則

秋田腎不全研究会 災害対策委員
齋藤 満

公益社団法人 秋田県臨床工学技士会災害対策委員会
委員長 小林浩悦
委員 駒ヶ嶺 健
委員 金 辰徳
委員 酒樹 勤
委員 平塚広樹
委員 藤谷文一郎

2025 年「秋田県透析施設災害ネットワーク災害シミュレーション」
実施内容と結果について

【はじめに】

2025年9 月1 日（月曜日）の日本透析医会の全国災害時情報伝達訓練に合わせ、同日に秋田県透析施設災害ネットワーク（以下災害ネットワーク）のシミュレーションも実施した。

現在、災害ネットワークのマニュアルにおいて、災害発生時はメーリングリストにより連絡・情報共有を行う事としている。

今回は秋田県内での地震災害を想定したシミュレーションを実施したので、その結果および今後の課題について報告する。

【シミュレーション概要】

実施日時：2025年9月1日（月曜日）

10：00仮想地震発生、地域別本部による受け入れ人数割り振り完了を以て終了
参加施設：秋田県透析施設災害ネットワークメーリングリスト登録施設(40施設)

参加率：33/40 施設（82.5%）

実施内容：秋田市内を震源とした直下型地震発生の想定で、以下のシナリオを作成し、メーリングリストに登録済みの各施設代表者もしくは副代表者より、一次情報および二次情報送信、地域別本部による対応のシミュレーションを行った。

【災害発生シナリオ】

- ①10：00 秋田市南部を震源とした震度 5 弱の直下型地震発生。
- ②災害ネットワーク活動開始。事務局よりメーリングリスト（以下 ML）に活動開始の発信。
- ③秋田市南部地域で 2 施設（おのば腎泌尿器科クリニック、秋田南クリニック）が設備破損により透析継続不可。ML で情報発信。
- ④被災地域の地域別本部（秋田赤十字病院）による地域内の他施設の状況確認、患者受け入れ要請。
- ⑤地域内の施設（秋田赤十字病院、秋田泌尿器科クリニック、清和病院）で受入れ応諾返信。
- ⑥地域別本部（秋田赤十字病院）は各施設の受け入れ可能人数により、必要であれば近隣地域へ受け入れ依頼発信。
- ⑦近隣地域より応諾返信。
- ⑧被害想定のない施設も「被害なし」で ML へ情報発信。
- ⑨地域別本部（秋田赤十字病院）は受け入れ人数を割り振り、シミュレーション終了。

◎ML への情報発信時には、マニュアルにある様式で発信。その際、件名には（訓練）災害ネットワークと入力。

◎被害想定のない施設は本来情報発信の必要はないが、今回は ML 自体の機能確認のために「被害なし」で情報発信

【シミュレーション結果】

シミュレーションの案内は、メーリングリスト登録者に 8 月 18 日およびマインドとして 8 月 29 日の 2 回、メーリングリストにて通知した。

今回のシミュレーションでは、40 施設中 33 施設（82.5％）より、総メール件数 57 件の情報発信があった。

マニュアルに則り、設定上の震源地である秋田市南部地域の 2 施設より、それぞれ 56 名、70 名の合計 126 名の受け入れ要請があった。

受け入れ要請に対し、地域別本部による調整があり、同地域 3 施設で 67 名、他の地域の 6 施設で 79 名の合計 146 名の受け入れ応諾があった。

図 1 情報発信の有無

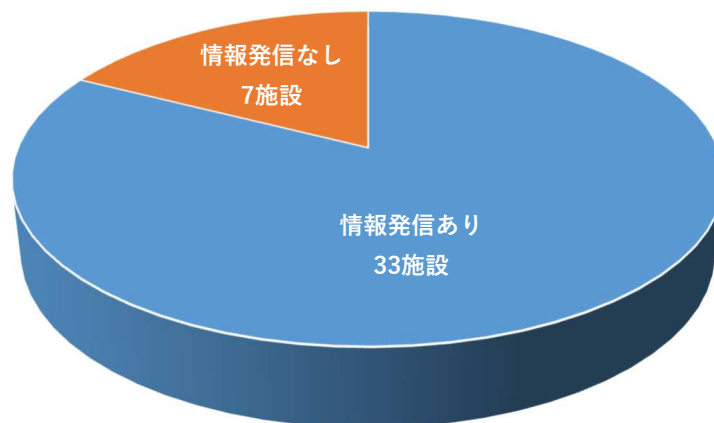


表 1 受け入れ応諾施設・受け入れ人数

当該地域	受け入れ人数（名）
秋田赤十字病院	33
秋田泌尿器科クリニック	28
清和病院	6
計	67
他地域	受け入れ人数（名）
中通総合病院	5
秋田厚生医療センター	10
立木医院	5
市立秋田総合病院	30
秋田大学医学部附属病院	14
大館市立総合病院	15
計	79
合計	146

【情報発信のなかった施設について】

- ・業務対応で参加できず
- ・失念していた（2 施設）
- ・当日担当者不在
- ・案内確認せず。開催を知らず。
- ・代表者・副代表者（同アドレス）送信できず。メール設定確認。（2 施設）

【シミュレーション終了後にいただいた意見】

- ・受け入れ施設が決定するまでの時間をもう少し早く出来なかったか。
 > 他の施設様の対応状況により時間がかかってしまうのは当然なのですが、夕方まで時間がかかったためもう少し早く返答が欲しかった。
- ・受け入れ先の分配を地域別本部で決めてもらった方が良かったのではないかと。
 > 受け入れ先を提示していただけるのはありがたいのですが、施設同士でそこから検討になるとより時間がかかってしまうため指示を出していただける地域別本部に分配を決定して欲しかった。

【課題】

- ・メーリングリストの不備。
 > 登録アドレスがリストから消えていた。→再設定。

> 代表者、副代表者のアドレスがスパムメールにとして振り分けられていた。

→原因不明

・マニュアルの再整備

> 患者受け入れ施設決定手順の見直し。

日本透析医会の全国災害時情報伝達訓練について

【日本透析医会の全国災害時情報伝達訓練】

目的：地域における災害対策の拡充

地域情報ネットワーク・地域情報システムの周知拡大

日時：2025 年 9 月 1 日(月)10:00～23:00

情報送信方法:地域における情報伝達網を活用して、地域情報伝達用ホームページまたは本部ホームページ[<https://www.saigai-touseki.net/>]に施設情報をご登録ください。

- ・訓練にあたっては、各支部において策定した訓練のシナリオに従った情報、または各施設で任意に想定した情報を送信して下さい。(情報を送信するときには訓練である旨を「その他・連絡事項」の項に必ずご入力ください)
- ・ユーザーID がない場合は、ユーザーID 空欄のまま、画面に沿って入力し、最後に確認、登録してください。

参加対象施設：透析医会会員、非会員は問いません

【当県の対応】

- ・当県では、シミュレーション終了後、本伝達訓練にも入力していただくよう、以下の通り通知した。
 - > 秋田県透析施設災害ネットワークシミュレーション終了後、自施設の状況を日本透析医会の全国災害時情報伝達訓練 HP へ入力。
 - > 被害想定のない施設も被害なしで入力。

【結果】

- ・当県では、昨年 14 施設より入力があり、今年は 22 施設よりご入力をいただいた。(23 件入力中 1 施設重複あり)

【考察】

- ・今回のシミュレーションは透析継続困難な施設の患者受け入れ要請に対し、被災地域内および近隣の地域による受け入れ応諾について、マニュアルに則った対応ができるかの訓練

となった。

- ・被災地域内での受け入れ人数が不足していたため、地域別本部による近隣地域への受け入れの呼びかけがあったが、それに対する返信に時間がかかっており、結果的に受け入れ施設、受け入れ人数が決定するまでかなりの時間を要した。シミュレーションという事もあり、最初の返信以降 ML のチェックをしない施設が多かったと思われる。
- ・受け入れ施設決定までの時間短縮、受け入れ先の分配についてなど、あらためてマニュアルの見直しと修正が必要と考える。
- ・ML のアドレスが消えていた、スパムメールに振り分けられていたなど、ML のシステムの問題と思われる事象により、情報発信したが ML に入っていない事例が複数あった。早急なシステムの確認と検証が必要と考える。
- ・日本透析医会全国災害時情報伝達訓練は昨年より多くの施設よりご参加いただいた。来年はさらに多くの施設よりご参加いただけるよう、案内を進める。

【結語】

- ・2025年9月1日（月）10：00秋田市内を震源とした直下型地震発生により、透析継続困難となった施設の患者受け入れを想定したシミュレーションを実施した。
- ・透析継続困難となった2施設より計126名の受け入れ要請に対し、9施設より計146名の受け入れ応諾があった。
- ・同日の日本透析医会全国災害時情報伝達訓練には22施設の参加があった。
- ・今後はマニュアルの見直し、修正が必要であり、MLのシステムについても検証が必要となった。
- ・次回の日本透析医会全国災害時情報伝達訓練の参加も推進していく。
- ・秋田県透析施設災害ネットワークシミュレーションを年1回は実施予定。